

## 【工業系高校&モノづくり企業懇談会】

開催日：令和2年12月9日（水）

会 場：石川ハイテク交流センター

参加者：ものづくり企業32名

高校17名（校長5名、教員11名、教育委員会1名）

### ———— グループ（3班）意見交換での主な意見 ————

#### 高校生に向けての求人活動・採用について

##### [企業より]

- ・新卒(18歳)は工業系高校、普通高校関係なく会社で育てることができるため、学科には重きはおかない。
- ・従来より地元工業高校からの採用を継続しているが、工業高校も進学率が高くなっていることと、誘致企業等が来ることで、工業高校では充足できず、普通高校も対象としている。
- ・工業高校からの採用が見込めない場合、普通高校からも採用している。  
普通高校出身者のため紙図面を廃止し工場内に3Dを導入した。また、書くということが苦手な社員も多く、作業日報はバーコードの読み取りにした。
- ・新卒の社員は無垢で育てやすい。社内での人間関係も中途採用より良好な傾向がある。
- ・採用するのはコストをかければ効果はあるかもしれないが、企業側としては「入社後は大事に育てます」というこちらからの姿勢をPRする機会が欲しい。
- ・就職活動の面接だけでは生徒の本来の性格などがわからないこともあり、採用後に本人が悩むこともある。生徒の性格などが分かっているのは教員の方々なので、事前に知らせていただければ対応もできる可能性もあると考えている。
- ・ものづくりに興味を持ってくれる人、真面目にコツコツと作業ができる人を採用できたらと考えている。
- ・受け入れ態勢の充実（環境・教育）に力を入れていきたい。
- ・地域に拘らず、リクルート系のサイト（ジョブドラフト）を利用し、全国に採用の間口を拡げるなどしている。学生は個人でエントリーしてくる。検索サイトでヒットするように工夫している。
- ・求人活動の一環として、高校生向けYouTube映像を作ってみたが、取引先を対象にした内容になってしまった。高校生が興味を引く内容を知りたい。
- ・新工場を竣工したが、その際、特に働く環境(空調・照明等)を重視した。

## [高校側より]

- ・就職を希望する生徒の保護者に対し「保護者としてではなく、社会人の先輩として働くためのアドバイスなどをしてほしい」と、機会をみて依頼している。
- ・就職後、すぐに退職する子は覚悟が足りないと思うこともあるが、社員数や福利厚生の面も影響があると思われる。
- ・まず給料ではない。「休み」、「家から近い」などを希望する生徒が増えている。これをやりたいという生徒はほんとに少ない。やりたいことは趣味、例えばゲームとかあってそれは一生懸命やる。仕事に対しては希薄。
- ・企業説明会で、社長さんが熱く語るのを見て就職を希望する生徒がいるので、とても有効な機会だと思う。ただ回れる会社が決められており、好きなところに行けないので不利になる企業もある。
- ・入社2、3年くらいの若い社員が、自分の会社での夢を持ち、熱く語るような内容は、生徒も関心を示し、好感触である。
- ・学校で説明会をするのは、企業を選別するのが非常に難しい。例えば雇用対策協会など、いくつか雇用を促進する目的とした団体があるので活用してはどうか。
- ・近年は工業系高校でも進学を希望する生徒が増えている。
- ・県工・市工は入学以前から十分勉強してきた生徒が多いため、課題等も立派にこなしている。子供一人に大人が多すぎる。子供がする前に大人がやってしまう。ただ、子供もやる時はちゃんとやるので、子供たちにそんな場面を大人達が提供できるかが大事だと思う。
- ・企業の選定にあたり重視するのは、自宅から通える・先輩が行っている・保護者がその企業を知っている。

## 求められる学習内容と人材像について

### [高校側より]

- ・県内工業高校の機械系学科は、学科名がすべて機械システム科に統一され、機械系学科の設備導入に関してもすべての学校で同じ機種が導入された。そのうえで、今後、工業高校の機械系の学科においてどのような力をつければよいか、企業側からアドバイスをお願いしたい。
- ・今年は実施できなかったが、デュアルシステムやインターンシップなどの就業体験が重要だと考えている。
- ・インターンシップ、デュアルシステムのほか、Wi-Fi活用によるICT、アクティブラーニングを実施。
- ・マイスターによる、溶接等の指導をしていただいている。

- ・教室に5Sを掲示、あいさつなど基本的なことの積み重ね。
- ・基礎基本的なことの育成。地域産業に貢献することを目指す。

### [企業より]

- ・技能的には基礎的なところをもう少し学んできてほしい。
- ・図面を見る力（三角法の見方）、PowerPoint、グラフ作成、書類づくりなど人に見せる力。
- ・高校の間に「考え方」について学んでほしい。具体的にはQCに対する考え方を指導していただくと就職後にスムーズに仕事につながる。
- ・お客さんの前で説明する機会が多々あるため、伝える力が重要。
- ・入社10年、20年で成果を上げている人は社会人基礎力が高い（社会人基礎力とは①アクション②シンキング③チームワーク）。
- ・学習内容として、学業の習得、コミュニケーション能力、物事に進んで取り組んでいく力、社会のルールを守る規律性を身に付けてきて欲しい。
- ・健康で素直。自分の意見を伝えられる。自ら考えて行動する。いろいろな人の意見を受け入れられる調和力。など。
- ・なにか一つ頑張った子、目標を持った子が良い。今どきは受け身が多い。怒られていないのか、怒られるとすぐにシュンとなってしまう子が多い。
- ・自分のエネルギーを自分の好きなことに注いできた子の方が会社で活躍している場合がある。
- ・今どきの若者が考えていることを知る努力をしている。

## 新型コロナウイルスの影響について

### [高校側より]

- ・4、5月と休学となり、実習がメインの工業系高校は生徒が登校できず、何もできない状態が続いた。またインターハイの中止、11月の全国ものづくりコンテストをはじめ、大きな大会も中止となるなど、現3年生はやり遂げた経験をしないまま送り出すこととなり非常に残念。
- ・オンラインによる会社説明会は職員室にあるモニターを使用するため、校内放送が入ったり、担当外の教員が近くで作業する中で生徒が対応している状況だった。
- ・進路指導の教員の席で教員のPCを使用して面談させていた。
- ・校内はWi-Fi環境が整っている場所が限られており、教員、生徒ともに苦労した。

## 【企業より】

- ・会社説明をオンラインで行った。
- ・気楽に接点を持ってもらえるという点で、オンライン実習研修を活かしていきたい。
- ・今年はコロナ禍での採用活動のためホームページをスマートフォン対応にした。
- ・コロナの中でも工夫を凝らし、デュアルシステムやインターンシップも継続し、高校生の工場見学も受け入れている。
- ・リモートでの会社説明会や面接が今後も増えてくることも想定し、生徒のために環境を整えてもらいたい。
- ・大学生はオンラインで興味を持ってもらえたら会社訪問という形をとった。高校でもオンライン環境を整えてもらえると生徒が企業を知る機会が増えると思う。

## その他

- ・県内の工業高校について、以前実業高校は15校あったが、統廃合され、現在航空石川を入れて7校となった。これ以上減らすことはできないと考えている。
- ・工業系を含む総合学科（工業、農業、商業、演劇）の特徴を活かし、他の専門学科との交流行事を実施し、自身の専門を見つめ直す機会を大切にしている。
- ・保護者は進学志向が強いため、学科により進学率が全く違う。工業高校は地元企業に人材を提供する使命があると考えている。
- ・コミュニケーションについて、生徒と企業の捉え方に差があると感じている。最近の生徒はSNSという別の世界観を持っている。SNSのお友達が多いことでコミュニケーションがとれている。と、思っている生徒もいる。